

北部（奈良市）普通科3校再編案の変遷

「奈良県立高等学校の配置と規模の適正化プロジェクト委員会」及び事務局内において、生徒数の減少予測に対応するための適正化の方法等を検討

I 平成26年9月（資料ア）

- ・学校数を維持し、生徒数の減少幅が大きい地域の学級数を主に減少させる。
（主に南東部・山間地域）
 - ・学校数を維持し、学級数を全体的に減少させる。（主に平坦地域）
 - ・生徒数の減少幅が大きい地域で、2校を1校に統合する。
（例：高取国際・桜井、西和清陵・生駒、十津川・五條、大宇陀・榛生昇陽の統合）
 - ・生徒数の減少幅が大きい地域の高校を分校化する。
（例：山辺、大宇陀、十津川の分校化）
 - ・現在の学校数、学級数を維持するが、1学級の定員数を30人にする。
- ◆ 生徒数の減少予測を基に、シミュレーションを実施。
 - ◇ 奈良高校の耐震補強を一部実施。（平成26年度に格技場の耐震補強を実施。）

II 平成27年7月（資料イ）

- ・学校数を維持し、学級数を減少させる。
 - ・学校統合を実施する。
- ① 大淀・吉野、大宇陀・榛生昇陽、西和清陵・法隆寺国際
 - ② 大淀・吉野、大宇陀・榛生昇陽、平城・登美ヶ丘、橿原・高取国際
 - ③ 大淀・吉野、大宇陀・榛生昇陽、平城・西の京、橿原・高取国際
- ◆ 生徒数の減少予測を基に、具体的なシミュレーションを実施し、複数案を検討。
 - ◆ 奈良市内にある普通科高校の統合案を検討。
 - ◇ 奈良高校の耐震補強+現地改築案に加え、移転案の浮上。
（いずれかの校地が空く可能性があるため。）

III 平成27年12月（資料ウ）

- ・学校統合を実施する。（奈良市）
- ① 奈良・平城 ② 平城・西の京
- ◆ 生徒数の減少予測を基に、対応を検討。
 - ◇ 奈良高校について、平城高校校地への移転案又は奈良高校校地での建て替え案を検討。
 - ◇ 奈良高校の現地建て替えの可否及び課題についてコンサルによる調査業務を実施。
（平成28年1月～3月）

IV 平成28年2月（資料エ）

- ・学校統合を実施する。（奈良市）
平城・西の京・登美ヶ丘をグローバル人材育成のための2校に再編する。
- ◆ 地域毎の専門教育の充実を意識した適正化案の検討
 - ◇ 奈良高校については、引き続き移転案又は建て替え案を検討。

*奈良高校コンサル調査業務の報告

（「県立高等学校耐震化事業関連調査業務報告書」（平成28年3月））

- ◇ 現地建て替えに工期40～43ヶ月（※）、工事費38億円程度かかることが判明。（ただし、設計費、体育館補強費を含むと42億円程度）
- ※ 現地建て替え工事着手までに、境界確定・測量業務、設計業務が必要で、これらの業務を合わせると、建て替え工事の完了が、早くとも平成35年末頃になることが判明。

「奈良県立高等学校の配置及び規模の適正化検討委員会」及び事務局内において、プロジェクト委員会の論点整理を基に適正化を検討

V 平成29年5月（資料オ）

・奈良市内の普通科のうち、急増期に設置された普通科単独校3校（西の京・平城・登美ヶ丘）を2校に再編

◆ 「配置と規模の適正化」と「実学教育の推進」をコンセプトに検討。

VI 平成29年6月（資料カ）

・生徒急増期に設置された奈良市内の普通科単独校3校（平城・登美ヶ丘・西の京）を特色ある2校に再編。

①（仮称）奈良創生高校 ②（仮称）国際高校

◆ 北部地域再編で新たに設置される2校の名称も含めた検討。

VII 平成29年7月（資料キ）

北部地域再編

・生徒急増期に設置された奈良市内の普通科単独校3校（平城・登美ヶ丘・西の京）を2校に再編

・奈良高校の耐震整備への対応についても検討が必要と言及。

・特色ある2校の開校

平城・登美ヶ丘・西の京 ⇒（仮称）奈良創生高校（西の京高校校地）
（仮称）国際高校（登美ヶ丘高校校地）

◆ 奈良市内の普通科高校の更なる特色化。

◇ 奈良高校の耐震への対応について、複数案を検討。

A案…平城高校校地の活用

B案…現在地での建て替え

C案…旧奈良工業高校跡地活用

教育委員会会議臨時会議の開催及び「県立高等学校適正化実施計画推進委員会」において適正化を検討

***平成30年4月13日 「県立高等学校適正化推進方針」策定**

・適正化の考え方を示したものであり、具体の学校名は書かれていない。

VIII 平成30年6月 公表（資料ク）

「魅力と活力あるこれからの高校づくり」のための学校再編

・西の京・平城・登美ヶ丘の3校を2校に再編

⇒（仮称）国際高等学校を登美ヶ丘校地に設置

⇒（仮称）県立大学附属高等学校を西の京校地に設置

・耐震化の早期完了とそのため現存校舎の有効活用

⇒奈良高校を平城高校校地に移転

◆ 「県立高等学校適正化実施計画（案）」を「総合教育会議」で報告するとともに公表。

◇ 平城高校校地が空くことになり、耐震化早期完了のため、奈良高校の移転を決定。

***平成30年7月3日 「県立高等学校適正化実施計画（案）」可決**

***平成30年10月5日 「県立高等学校適正化実施計画修正（案）」可決**